

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2302100107		
法人名	特定非営利活動法人 うらら		
事業所名	グループホーム うらら奥町 1階		
所在地	一宮市奥町字内込45-11		
自己評価作成日	平成22年1月26日	評価結果市町村受理日	平成22年4月13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.aichi-fukushi.or.jp/kaigokouhyou/index.html
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人『サークル・福寿草』
所在地	愛知県名古屋市中村区松原町一丁目24番地 S101号室
訪問調査日	平成22年2月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

併設の小規模多機能型居宅介護と合同でイベントを開催したり、お互いの利用者が行き来したりして、協力関係を築きながら取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームうらら」の特徴として、毎月イベント(行事)を実施し、季節感を味わうことが出来る。季節によっては、弁当持参で外出することもある。また、職員も口を揃えて、「職員は仲がいい」、「休み希望が取れている」など、職員同士の協力の他、管理者等も職員が働きやすい環境整備を心がけている。さらに、利用者も和やかで、職員と家族のように関わりがあることなど、日々の生活上で取り組んでいる。ホームの理念の「絶え間ない 笑顔と優しさ うららかに」を基に、各階でテーマを決め、職員が積極的に笑顔のあるケアを実践するための取り組みを行っている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念を「絶え間ない 笑顔と優しさ うららかに」と定め、玄関に掲示している。	開設時、職員皆でテーマを出し、練り上げ作った。月1回、職員会で話し合い、確認し、周知を徹底している。毎年のテーマを職員で決めて、今年は「笑顔」で毎月のテーマは進行中である。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会へ入会し回覧板を回してもらっているほか、行事の際には両隣にお声掛けとともにご挨拶に行くようにしている。	町内会等に参加し、回覧等で情報を得て、餅つきやお宮の神事等にも参加した。近所の高齢者の緊急時、救援依頼があり、役に立つことができた。さらに、ホームに救急車が来た時も、事後経過を話している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域への発信についてはなかなか出来ていないのが実情である。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町会長、民生委員、ご家族の意見を聞きながら、サービスの質の向上に努めている。	概ね2か月に1度の予定で開催している。会議には、職員も参加し、そこで出た意見等は職員が主となり、各階で話し合い、実際に下肢筋力の低下が心配との意見で、手作りの階段昇降機で日常生活内でのリハビリも実地している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	出向くことはなかなか出来ないが、電話などで疑問点などを尋ねるようにしている。	介護保険上の人員体制や加算等や解釈に困ったことなどについて相談している。また、市主催の検討会や虐待防止サミット等に職員が参加し、市との関わりをはかっている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員会議の際に勉強会などを行うなど、スタッフへの意識づけに努めている。	病院から直接入居された方がつなぎ服を持ってきたときも使用しないことや、玄関の施錠もしないこととしている。職員から積極的に拘束をしないケアについて話し合い、拘束排除に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	改めて学ぶ機会は少ないが、普段の介護の中での意識づけに努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者会議の議題に挙げるなど、制度の理解に努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には、重要事項説明書・契約書の内容を口頭で説明している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時に、重要事項の説明の一環として苦情窓口の説明。玄関にご意見箱の設置。	「うらら通信」を年4回発行し、写真を多く載せ行事等を知らせしている。家族からは、訪問時や計画見直し時等に、状況報告等に伺っている。毎月1回コメントを送っている。	家族との連携や交流を充分図るために、今後に向け、家族への説明等で交流も深めることを期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度の職員ミーティング、フロアリーダー会議を開催し、改善できる部分から順次意見を反映している。	月1回のミーティングやリーダー会議等で、意見や提案を述べる事が出来る。また、休み希望も反映されている。職員からは業務内容の改善について提案され、働きやすいように改善している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	シフト勤務の時間帯の見直しなど、利用者の生活サイクルを考慮しつつ、改善を図っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部での研修で学んだことを職員会で他の職員に伝達するようにし、またテーマを決めて勉強会をしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	サービス事業者連絡会などに出席するなど、交流の場に参加するようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居の際にはご家族からの話になりがちであり、ご本人からは入居後に聞くことが多い。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族からの相談は随時お聞きして、不安を少しでも取り除けるよう心がけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者確保を第一とはせず、ご本人・ご家族にとって、グループホーム入居が本当に最適かどうかを考えるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員がすべて行うのではなく、入居者自身ができることはできるだけしていただくよう心がけている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会や受診付き添いを依頼するなど、ご家族との関わりが途切れないように心がけている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族との面会・外出は多くあるが、親族以外との関わりは薄くなってしまっている。	家族の協力で馴染みの喫茶店や美容院等へ出かけている。また、友人と外出したり、墓参りに出かけるなど出来る限りの支援を努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の相性を把握し、間に職員が入って人間関係でのトラブルを回避するよう心がけている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	在宅に戻られた方に、併設の小規模多機能の利用の声かけを行うなどしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の意向を随時聞き、できるだけ希望に添えるよう心がけている。	利用者と一対一で、直接話しを聴く時間を設けたり、うまく意思表示が出来ない利用者からは、行動や言動等の様子から推測している。本人本位になるように、日々努力しながら把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居申込時の面談や入居契約時に、本人の生活歴やサービス利用経過を把握するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居前の面談や入居後の様子を見て、把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人について気づいた点・気になる点など申し送りノートに記入し、朝の申し送り時にも確認するようにしている。また、入居者ご本人にも話を聞き、計画に反映するよう努めている。	担当制であり、モニタリング、アセスメントは、ケアマネージャー中心で月1回の職員会で職員に問題点、改善点を聞いている。日々気付いたことを申し送りに書き、家族から聞いたことを計画に活かしている。3か月に1回見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録への記入、排泄チェック表の活用。日誌の特記事項への記入。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、ご家族の要望に、できるだけ柔軟に沿えるよう心がけている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの方々(三味線・落語など)に来ていただき、入居者・職員ともに楽しんでもらえるよう心がけている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にご家族と話し合い、往診対応可能な提携医療機関への転院や、ご希望に応じて通い慣れた主治医に継続して受診するなど、個別に対応できるよう配慮している。	入居時に家族へはかかりつけ医の説明をしている。希望等がない場合は嘱託医に変更している。月2回の定期往診がある。また、非常勤看護師が勤務し、24時間連携で緊急時の対応もあり、利用者の安全に配慮している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師の資格を持つスタッフがおり、投薬の管理・体調管理など定期的に行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は見舞いに行き、入居者の状況把握を伺うなど、退院後にスムーズに戻れるよう配慮している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に施設としての考え方をお話しし、ご家族の意見・希望をお聞きし、状況に応じた対応を心がけている。	看取りの実績はないが、家族とは、入居時に説明を行い、段階的に話し合っている。職員の中には不安な者もいる。次回の管理者の会議は看取りがテーマとなっており、ホームとして今後看取りを行う方向で現在検討中である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	対応マニュアルに沿って初期対応を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町会長・民生委員に運営推進会議に出席いただき、災害をテーマに挙げるなどの取り組みをしている。	年2回避難訓練を実施。訓練は避難と消火訓練を昼間に行い、利用者も3名参加している。スプリンクラーも設置予定になっている。備蓄は現在検討中である。	ホーム内には特に段差等も無く、連絡体制や地域との協力体制が整っているが、備蓄が現在完備されていない。今後は備蓄の準備と夜間態勢の充実についても検討を期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人のプライバシーに配慮するよう心がけている。	日々の業務内で一人ひとりの尊厳を傷つけないように取り組んでいる。職員は、言葉についてはお互いに注意し合っている。調査時にも同意を得た方の居室を見る時、声かけをしてから案内された。トイレ誘導は小声でしている。	一人ひとりの状況を把握し、プライバシーの工夫を研修や記録等で改善を図りながら、より良い生活の実現に努められたい。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人に合わせて言葉や話しかけ方を工夫し、接している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの希望を聞き、できるだけ叶えられるよう配慮している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	更衣介助の際など、身だしなみを整えるようにしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下膳はできるだけご自分で行なっていただくよう心がけているが、調理などはあまり関わっていない。	食材は、車で利用者も一緒にスーパーへ買い物に行くこともある。献立は、栄養士が作っている。配膳は職員がするが、下膳は利用者もしている。また、時には喫茶店のモーニング、回転寿司等、外食することもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	趣向や小食希望の方など、個別の状況に応じて支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後・就寝前の口腔ケアの実施。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排尿・排便状況を記録にて把握している。	個々の排泄チェック表を作成。尿意のない利用者は時間等で声をかけている。入居時に紙パンツの利用者が時間で誘うことで失禁も無く、布パンツに変更になった利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排尿・排便状況を記録にて把握し、特に排便の間隔には気をつけている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日を決めて、入浴の順番をローテーションするなど、公平に入浴ができるように心がけている。	週3回で、「月水金グループ」と「火木土グループ」に分けて、午後から入浴している。入浴順は、公平になるように言葉かけをしている。いやがる利用者は無理強いをせず、その気になるように言葉かけをしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間の睡眠がスムーズにできるよう、日中に散歩や体操などで体を動かしてもらうよう心がけている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	投薬の確認には慎重に対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人の生活歴や趣向の中から、その人に応じた楽しみを見出すように心掛けている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や買い物など、外出する機会を設けている。	近隣への日々の散歩や近くにある和菓子屋、喫茶店・スーパー等へ出かけている。昨年度はインフルエンザで減っていたが、今後は今まで通り出かけるように取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を手元に所持している入居者は1人だけである。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙のやりとりはしている入居者はいる。電話はかかってくることはあるが、かける事はあまりない。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者が作った作品(貼り絵・塗り絵)をリビングに飾り、季節感を感じられるよう配慮している。	玄関は、段差を無くし色で分り易くしている。共有空間は、床材を滑らず見た目も綺麗な物を使用している。また、キッチンも対面式で、利用者が食後にソファで寛いでいる場面も確認できる。また、畳のスペースがあり、掘りごたつが中央にある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳のスペースに腰掛けたり、ソファで隣り合って座ったり、空間づくりに配慮している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、在宅時に使い慣れた馴染みのあるものも持ち込んでいただくよう言葉掛けをしている。	ベッドは持ち込みである。衣装ケース、イス、チェスト等、愛用の品が見受けられる。小物入れにアクセサリが入っていたり、ぬいぐるみも置かれている。壁には外出用、衣類が掛けられている。夜間用ポータブルトイレも置いてあった。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりを各所に取り付けたり、キッチンの高さを通常より低くしたり、高齢者が使用しやすいように配慮している。		

(別紙4(2))

事業所名 グループホームうらら奥町

目標達成計画

作成日: 平成 22年 3月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策・火災対策についての取り組み(避難訓練・備蓄の確保など)。	施設内外との協力体制強化	・定期的な消防訓練の実施 ・備蓄品、災害品(毛布など)の準備	3ヶ月
2	27	記録への記入内容が不十分	記録内容の確認、サインの徹底	・職員会で、記入例を用いて記録の書き方を指導 ・記録用紙へのサインの徹底	2ヶ月
3	10	入居者のプライバシー、羞恥心への考慮		・トイレ誘導などの声掛け時、声の大きさ・言葉の選択に留意 ・居室のカーテンの開閉状況に留意し、近隣から内部が見えすぎないように注意する。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月